

2026年度 第5回（10月）北辰テスト対策 予想問題【C版】 解答・解説

社会

1 問1（4点）

アルプス山脈

解説: アルプス山脈はヨーロッパ南部を東西に走る険しい山脈で、氷河がつくった地形や観光・酪農で知られる。ヨーロッパの大河（ライン川・ドナウ川など）の水源にもなっている。北側には広大な平原が広がる。

採点ポイント: 「アルプス」の表記。

1 問2（4点）

ウ

解説: ローマ（イタリア）は地中海性気候。夏は高温で乾燥し、冬に雨が多いのが特徴で、ウ は 7～8 月の降水が 20 mm 前後と少なく、10～12 月に 100 mm をこえている。

ア は冬が -4°C まで下がる高緯度のオスロ、イ は夏に乾燥するが内陸で全体に降水が少ないマドリード、エ は一年中降水が平均的で夏が涼しい西岸海洋性気候のベルリン。

採点ポイント: 「夏に乾燥＝地中海性気候」。オリーブ・ぶどうの栽培と結びつける。

1 問3（3点）

ウ

解説: ノルウェーの海岸には、氷河にけずられた谷に海水が入りこんだフィヨルドが見られる。北大西洋海流（暖流）と偏西風の影響で、高緯度のわりに冬の寒さがゆるい。EU には加盟していない。ア はイギリス、イ はスペイン、エ はイタリアの説明。

採点ポイント: 「フィヨルド＝ノルウェー」「EU 非加盟（ノルウェー・スイス）」。

1 問4（3点）

北大西洋海流

解説: 北大西洋海流（暖流）の上を、一年中西からふく偏西風が通ることで、暖かく湿った空気が運ばれる。このため、日本の北海道より北にあるロンドンやパリでも冬に雪が少なく、西岸海洋性気候になる。

採点ポイント: 「北大西洋海流」と「偏西風」をセットで。

1 問5 (5点)

ドイツは風力や太陽光などの再生可能エネルギーによる発電の割合が最も高いのに対し、フランスは原子力による発電の割合が最も高い。

解説:

グラフ2の要点: ドイツは再生可能エネルギー 45 %が最大で、原子力は 11 %。フランスは原子力 67 %が最大。

ドイツは 2011 年の東日本大震災後に脱原発を決め、風力・太陽光を増やしてきた。フランスは 1970 年代から原子力を中心にしてきた。

どちらも二酸化炭素の排出を減らすことが課題で、石炭火力の割合は減っている。

採点ポイント (5点): 指定語 2 つを使い (2点)、「ドイツ=再生可能エネルギーが最大」「フランス=原子力が最大」の対比が書けている (3点)。片方だけは 2 点。

1 問6 (3点)

イ

解説: 主な輸出品が原油・天然ガスで一人当たり GNI が非常に高い II がノルウェー (北海油田)。人口 8300 万人と多く機械類・自動車を輸出する III がドイツ (EU 最大の工業国)。I はスペイン (自動車・野菜や果物)。

採点ポイント: 輸出品の特徴で国を特定する。

2 問1 (3点)

季節

解説: 瀬戸内地方は、冬の北西の季節風が中国山地に、夏の南東の季節風が四国山地にさえぎられ、乾いた風が入るため降水量が少ない。このため古くからため池 (香川県) がつくられ、日照時間の長さを生かした果樹栽培 (愛媛のみかん、岡山のぶどう) や、塩田もさかんだった。

採点ポイント: 「季節風」。2 つの空欄には同じ語が入る。

2 問2 (3点)

ア

解説: 愛媛県は温暖な気候と日当たりのよい斜面を生かしてみかんなどのかんきつ類の栽培がさかんで、今治市はタオルの生産で知られる。イ は香川県、ウ は鳥取県、エ は山口県の説明。

採点ポイント: 「愛媛=みかん・今治タオル」「香川=ため池・讃岐うどん」「鳥取=砂丘・なし」。

2 問3 (3点)

ウ

解説: 1 月の降水量が 200 mm と多い I は鳥取市 (日本海側の気候・冬に雪や雨)。7 月の降水量が 330 mm と多い III は高知市 (太平洋側の気候・梅雨と台風)。どちらも少なく日照時間が長い II は高松市 (瀬戸内の気候)。

採点ポイント: 「冬に多い=日本海側」「夏に多い=太平洋側」「どちらも少ない=瀬戸内」。

2 問4 (5点)

P＝過疎（過疎化）／若い人が都市に出ていき高齢者の割合が高まるため、学校や病院、バスなどの生活に必要な施設やサービスを維持することが難しくなる。

解説:

過疎は、人口が大きく減って地域社会の維持が難しくなる状態。中国・四国地方の山間部や離島で深刻。

若い世代が都市部へ流出すると**高齢者**の割合が高まり（高齢化）、学校の統廃合、病院の閉鎖、路線バスの廃止などがおこり、さらに人口が減る悪循環になる。

対策として、移住者の受け入れ、地域おこし、I ターン・U ターンの支援などが行われている。

採点ポイント (5点)：用語 2 点／記述 3 点（「高齢者の割合が高まる」＋「生活に必要な施設・サービスの維持が難しい」）。「人が減る」だけでは 1 点。

2 問5 (2点)

イ

解説:

I 正：高校（文）は S 駅からみて右上、つまり**北東**の方向にある。

II 誤：2 万 5 千分の 1 なので、地図上 4 cm は $4 \times 25000 = 100000 \text{ cm} = 1000 \text{ m}$ 。500 m ではない。

採点ポイント：縮尺の計算は「 $\times 25000$ 」。単位換算（cm $\rightarrow$ m は $\div 100$ ）。

3 問1 (4点)

菅原道真

解説: 菅原道真は、唐のおとろえと航海の危険を理由に遣唐使の停止を提案した（894 年）。のちに藤原氏の策略で大宰府に左遷され、学問の神（天神）としてまつられた。遣唐使の停止後、日本独自の**国風文化**が育った。

採点ポイント：「菅原道真」の漢字。「管原」の誤字に注意。

3 問2 (3点)

ウ

解説: 元軍は**火薬**を使った**武器**（てつほう）と**集団戦法**で戦い、一騎打ちに慣れた御家人を苦しめた。執権北条時宗のもとで御家人は防戦し、暴風雨にも助けられて元軍は退いた。しかし新しい領地を得られず、幕府は御家人に十分な**恩賞**を与えられなかったため、御家人の不満が高まった。

採点ポイント：「てつほう・集団戦法」「恩賞不足→御家人の困窮」。

3 問3 (3点)

ア

解説: 1543 年、**種子島**に漂着したポルトガル人が**鉄砲**を伝え、戦国大名の戦い方を変えた（長篠の戦いなど）。1549 年、イエズス会の宣教師**フランシスコ・ザビエル**が鹿児島に上陸してキリスト教を伝えた。

採点ポイント：「1543 鉄砲・種子島」「1549 キリスト教・ザビエル」。

3 問4 (3点)

イ

解説: 朱印船貿易では、幕府が発行した朱印状をもつ船が東南アジア（ルソン・シャム・安南など）に渡り、生糸や絹織物を輸入し、銀や刀を輸出した。各地に日本町ができ、山田長政のようにシャム（タイ）で活躍した日本人もいた。

採点ポイント: 「朱印状」「東南アジア」「日本町」。

3 問5 (3点)

イ

解説: 鎖国が完成したのは 1641 年（オランダ商館を出島に移す）。同じころイギリスではピューリタン（清教徒）革命（1640 年代）がおり、国王が処刑された。アのルネサンスは 14～16 世紀、ウの産業革命は 18 世紀後半、エのフランス革命は 1789 年。

採点ポイント: 「17 世紀＝イギリスの市民革命（清教徒革命・名誉革命）」。

3 問6 (3点)

ウ

解説: 幕府はキリスト教を広めるおそれのない国とだけ貿易を続けた。オランダはプロテスタントの国で布教をしないと約束し、中国（清）はもともとキリスト教と関係がなかった。ポルトガル・スペインはカトリックの布教を行ったため追放された。

採点ポイント: 「オランダ・中国＝布教しない」がキーワード。

4 問1 (4点)

板垣退助

解説: 板垣退助は征韓論に敗れて政府を去ったあと、藩閥政治を批判して国民が選んだ議員による議会（民権議院）の設立を求めた。これが自由民権運動の始まり。1881 年には自由党を結成した。

採点ポイント: 「板垣退助」の漢字。「板垣」を「坂垣」と書かない。

4 問2 (3点)

ア

解説: 自由党＝板垣退助（フランス流の急進的な自由主義）、立憲改進黨＝大隈重信（イギリス流の穏やかな議会政治）。国会開設の勅諭を受けて、政党が結成された。

採点ポイント: 「板垣＝自由党」「大隈＝立憲改進黨」。伊藤博文は憲法を起草した政府側。

4 問3 (3点)

ア

解説: 伊藤博文はヨーロッパで憲法を調査し、君主の権力が強いドイツ（プロイセン）の憲法を手本にした。大日本帝国憲法では主権は天皇にあり、天皇が国の元首として統治し、軍隊を率いる権限などをもった。国民は「臣民」とされ、権利は法律の範囲内で認められた。

採点ポイント: 「ドイツ」「天皇主権」。

4 問4 (3点)

イ

解説: 帝国議会は、皇族・華族や天皇が任命した議員からなる貴族院と、国民の選挙で選ばれた衆議院の二院制。衆議院議員の選挙権は、当初は直接国税 15 円以上を納める満 25 歳以上の男子に限られた。

採点ポイント: 「貴族院と衆議院」。参議院は戦後の日本国憲法から。

4 問5 (5点)

選挙権が、直接国税を15円以上納める満25歳以上の男子に限られていたから。

解説:

有権者約 45 万人 ÷ 総人口約 4000 万人 ≒ 1.1 %。

選挙権の条件が「直接国税 15 円以上を納める満 25 歳以上の男子」だったため、一部の地主や富裕層に限られた（制限選挙）。

その後、納税額の条件は 10 円（1900）、3 円（1919）と下がり、1925 年の普通選挙法で納税条件が撤廃されて満 25 歳以上の男子に、1945 年に満 20 歳以上の男女に広がった。

採点ポイント (5点) : 指定語 2 つ (2点) + 「一定額以上の納税者」「男子のみ」「25 歳以上」の条件が書けている (3点)。

4 問6 (3点)

エ

解説: 年代順に :

1. d 西南戦争 : 1877 年 武力による反乱の最後
2. b 国会期成同盟 : 1880 年 国会開設を求める署名運動
3. a 内閣制度 : 1885 年
4. c 大日本帝国憲法の発布 : 1889 年

「武力（西南戦争）→言論（民権運動）→制度の整備（内閣→憲法）」の流れ。

採点ポイント: 西南戦争（1877）が民権運動の本格化（1880～）より前。

5 問1 (3点)

ア

解説: 情報化は、インターネットやスマートフォンなどの**情報通信技術 (ICT)** の発達によって、大量の情報を瞬時にやり取りできるようになった変化。買い物・学習・行政手続きなど生活のあらゆる場面に広がり、**人工知能 (AI)** の活用も進んでいる。

採点ポイント: 「情報通信技術の発達」が情報化の中心。

5 問2 (3点)

イ

解説: 2010 年の 10 % から 2013 年には 62 % と、わずか 3 年で急増し、2022 年には 90 % に達している。急速に普及したことが読み取れる。ア (減少)、ウ (2022 年に 50 %)、エ (2010 年が最高) はグラフと合わない。

採点ポイント: 増え方の「速さ」に注目する。

5 問3 (3点)

情報リテラシー (メディアリテラシー)

解説: 情報リテラシー (メディアリテラシー) は、あふれる情報の中から信頼できるものを見分け、活用する力。インターネット上には誤った情報 (フェイクニュース) も多いため、発信元を確かめる、複数の情報を比べるなどの姿勢が求められる。

採点ポイント: 「リテラシー」の表記。「情報モラル」(情報を扱うときのルールやマナー) とは別。

5 問4 (3点)

ア

解説: 氏名・住所・顔写真など、特定の個人を識別できる情報が**個人情報**で、流出すると悪用されるおそれがある。また、情報通信機器を使いこなせる人とそうでない人との間に生じる格差を**情報格差 (デジタルデバйд)** という。高齢者や所得の低い人が取り残されないようにすることが課題。

採点ポイント: 「個人情報の保護」「情報格差」。

6 問1 (3点)

ウ

解説: **ユネスコ** (国連教育科学文化機関) は、教育・科学・文化を通じて平和に貢献することを目的とし、**世界遺産**の登録を行う。日本の世界遺産には白川郷・五箇山の合掌造り集落、法隆寺、富士山などがある。WHO は世界保健機関、ユニセフは国連児童基金、WTO は世界貿易機関。

採点ポイント: 「世界遺産＝ユネスコ」。

6 問2 (3点)

イ

解説: 外国人宿泊者数が 1200 万人とけた違いに多い **Ⅱ が京都府** (国際観光都市)。残る 2 県のうち、製造品出荷額が 6 兆円と多い **Ⅰ が岐阜県** (中京工業地帯に近く、自動車部品・航空機などの工業)、**Ⅲ が愛媛県**。

採点ポイント: 観光で 1 つ、工業出荷額で残りを分ける。

6 問3 (4点)

西陣織

解説: **西陣織**は、応仁の乱で西軍が陣を置いた京都の「西陣」でつくられる高級絹織物。**伝統的工芸品**は、100 年以上続く伝統的な技術で主に手作りされる工芸品で、輪島塗 (石川)、南部鉄器 (岩手)、益子焼 (栃木) などがある。

採点ポイント: 「西陣織」の 3 字。「西陣」の由来は応仁の乱。